

第4回 長野県高校生即興型英語ディベート交流大会 報告

主催 長野県高等学校文化連盟英語専門部
後援 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)
日時 8月4日(日) 9:30~16:30
会場 長野県 屋代高等学校
参加者 長野高校、松本深志高校、屋代高校 全44名
ジャッジ 各校顧問、長野県高文連英語専門部ディベート担当者 計5名
ゲストジャッジ PDA認定教育ジャッジ 池上博氏

1. 開会式

ジャッジの紹介と本日のスケジュール、運営方法が発表されました。

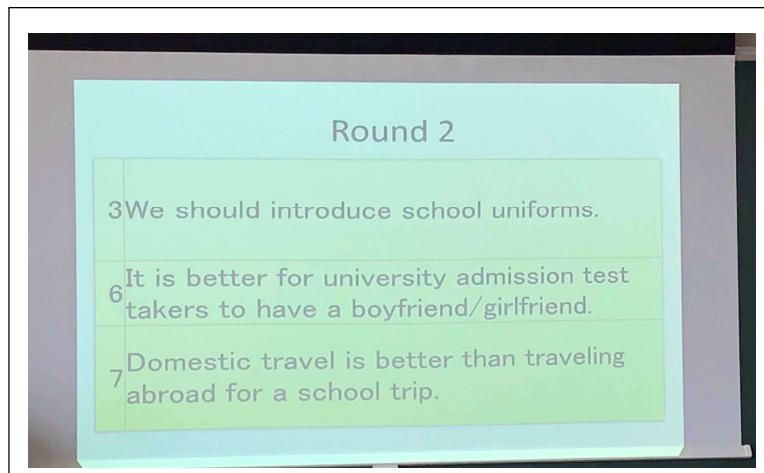
各校代表2チームによるトーナメントと、他の生徒による練習会の2部門に分かれて1日がスタート。

2. トーナメント

他校4チームとの総当たり戦で4ラウンドを行いました。

第1ラウンド: Prepared motion Japanese should make it mandatory for elderly people to return their driver's license.

第2~第4ラウンドは、推奨論題からランダムで3つの論題を提示し、対戦チームが同意した論題となりました。



第2ラウンド: Domestic travel is better than traveling abroad for a school trip. (全試合)

第3ラウンド: We should introduce compulsory voting. (全試合)

第4ラウンド: Artificial intelligence is our enemy. (2試合)、Government should punish individuals who wrote fake news. (1試合)

最初の内は緊張感が勝っていましたが、ラウンドが進むにつれて自信をつけ、力強いディベートになっていきました。

3. 練習会

全6チームが3チームずつに分かれ、Gov. Opp. Judgeの3つをローテーション。昼食を挟んで、組み合わせを変えてもう1回、Gov. Opp. Judgeを全部体験。

ジャッジを体験することで、自分のスピーチがどのように聴かれるのか、客観的に考えることができ、力がついたと思います。

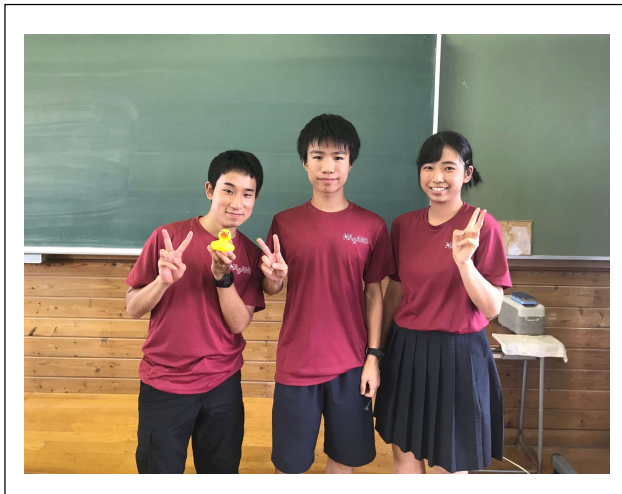
全部で6ラウンドを行うハードスケジュールでしたが、リラックスした雰囲気の中、笑いも交じりながら楽しそうに英語でコミュニケーションをしている生徒たちの姿が印象的でした。

4. 閉会式

練習会の順位、トーナメントの順位、そしてトーナメントのベストディベーターが発表され、ゲストジャッジの池上先生からコメントを頂きました。

<トーナメント順位> 1位：長野 B、 2位：長野 A、 3位：松本深志 B、 屋代 B

↓トーナメント優勝チーム



練習会優勝チーム

